

2023年度 第3回 原子力施設見学会

- 実施日：令和6年3月11日（月）
- 集合／解散場所：東京駅（丸の内口・新丸の内ビル横）
- 見学場所：東芝エネルギーシステムズ株式会社 横浜事業所 磯子エンジニアリングセンター
 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
- 参加者数：10名（男性7名、女性3名）
- 参加者内訳：

1	東京都市大学 総合理工学研究科 共同原子力専攻 M1
2	東京都市大学 理工学部 原子力安全工学科 3年
3	東京都市大学 理工学部 原子力安全工学科 3年
4	東京都市大学 理工学部 原子力安全工学科 1年
5	東京都市大学 理工学部 原子力安全工学科 4学年
6	東北大学大学院 工学研究科 修士2年
7	明治学院大学 社会学部 社会学科 4年
8	東京都市大学 理工学部 原子力安全工学科 2年
9	福井大学 工学部 機械・システム工学科 学部3年
10	福井大学 工学部 機械・システム工学科 原子力安全工学コース 4年

見学会内容

東芝エネルギーシステムズ株式会社 横浜事業所 磯子エンジニアリングセンター

- ・CAD（立体視、1Fがれき対応、6DCAD等）
- ・プラントシミュレータ（1F事故再現等）
- ・原子力発電プラントモデル、実寸大の原子炉内機器模型等

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

- ・重粒子線治療装置（HIMAC）：シンクロトロン加速器、線形加速器等
- ・緊急被ばく医療施設：被ばく医療設備等

参加者コメント（抜粋）

- ・東芝エネルギーシステムズの6DCADの有効性とQSTの緊急被爆医療施設を見えられたことが興味深かったです。理由は、実物を見たことがなかったが、どういうものか知ることができたこと。
- ・東芝での3D、6DCADについて、自身の知っている、用いたことのあるCADと比較してより理解のし易いCGに近いような印象を受け、印象に残った。
- ・QSTにて、日本の緊急被ばく医療の拠点を見学することができたのがよかった。
- ・量子科学技術研究開発機構さんで見学させていただいた。重粒子線を用いたがん治療が最も興味深かった。間近でHIMACを拝見させていただけたこともそうだが、世間的に放射線は「目に見えない」「線量によっては人体にも悪い影響が及ぶ」というよ

うなマイナスなイメージもある中で、放射線が医療という領域において切らずに痛みも伴うことなく治療する方法として活用されていることは多くの人に知って欲しいと感じた。

- QST の HIMAC のシンクロトロンが最も興味深かった。